

平成29年度事業計画

《概 要》

北九州市においては、『元気発進！北九州プラン』の中で、暮らしを彩るため、「生活に根つき、誇れる文化・スポーツの振興」を目標に掲げ、芸術・文化の振興を図ることとしている。

これを受けて当財団は、市民の多様な芸術文化ニーズに対応し、優れた芸術文化に接する機会を提供すること、芸術文化を通して青少年の育成をはかること、市内外に向けて芸術文化情報の発信に努めることなど、様々な公演事業や育成事業、情報提供事業等を実施し、芸術文化の振興と芸術文化を核としたまちづくりを目指していく。

また、併せて北九州芸術劇場等の芸術文化施設の管理運営、並びに文化財保護法に基づいた埋蔵文化財の発掘調査を行う。

さらに、文化に関する情報提供機能を再編し、広域かつ幅広い層への情報発信を行い、地域文化の振興への寄与を高めていくこととする。

I 文化創造事業の実施

平成26年度から5年間の指定管理者となっている北九州芸術劇場、北九州市立響ホール、北九州市立大手町練習場の3つの芸術文化施設について、管理運営を行う。

これら3施設については、

① 北九州芸術劇場と響ホールを北九州地域の舞台芸術・音楽文化の拠点施設

② 大手町練習場は両施設の補完、及び市民の芸術文化活動の支援施設

と位置づけ、舞台芸術については「創る」「育つ」「観る」「支える」、音楽文化については「創る」「育つ」「聴く」「支える」をコンセプトとし、これらに沿った事業を推進していくとともに、市民の文化活動の支援など、地元に着した事業運営と芸術文化情報の収集・提供を行っていく。

また、北九州市からの指定管理事業として、市民の多様な芸術文化ニーズに対応した公演事業や育成事業を実施し、芸術文化の振興に寄与する。

1 舞台芸術の振興

市民に、より良質な芸術文化を提供するため、財団が管理する北九州芸術劇場を利用して積極的な事業を展開し、芸術文化の振興に寄与する。

(1) 創造事業

北九州芸術劇場オリジナルの舞台芸術作品を製作し、公演を実施する。

事業名	時期・場所等	内容等
北九州芸術劇場 ×北九州立美術館 vol.5 「10万年の寝言」	北九州立美術館分館 6月8日(木)～11日(日) 8公演	北九州立美術館とのコラボ企画第5弾。今回は、現代美術家・ヤノベケンジの立体造形作品そのものを舞台美術として使用し、そこから想起された演劇作品を上演。終演後は学芸員が作品について解説する。 【構成・演出】 泊篤志
北九州芸術劇場プロデュース ／市民参加企画 合唱物語 「わたしの青い鳥 2017」	[公演] 北九州芸術劇場中劇場 6月25日(日) 1公演 [コーラス・ワークショップ] 5月12日(金)～6月24日(土) 全14回	市民参加型創造事業。メーテルリンクの「青い鳥」を原作にオリジナルの曲と詞を作り、市民参加の合唱と朗読で物語をすすめていく。本番を含む15回のワークショップを実施し、作品には参加者の自分史や幸福感を取り込み、さらに公演では来場者にも幸福感をインタビューし、会場一体となって幸せ探しをする。平成16年度から毎年続いて14回目の開催。
北九州芸術劇場 ＋市民共同創作劇 「Re:北九州の記憶」	北九州芸術劇場小劇場 10月22日(日)～29日(日) 7公演	平成24年度からはじまり6年目を迎える事業で、北九州地域に暮らす人の歴史(記憶)を「北九州の歴史」として振り返り、未来へ継承することを目的に実施している。 構成・演出：内藤裕敬(南河内万歳一座)
北九州芸術劇場プロデュース 「彼の地Ⅱ(仮)」	[北九州公演] 北九州芸術劇場小劇場 2月17日(土)～25日(日) 8公演 [東京公演] あうるすぽっと 3月2日(金)～4日(日) 3公演 [愛知公演] 穂の国とよはし芸術劇場 PLAT アートスペース 3月10日(土)～11日(日) 2公演	平成19年度からの「青春の門 放浪篇」に始まる劇場オリジナルプロデュース作品。 第一線で活躍するアーティストによる、北九州らしさを感じさせる作品創りに取り組むとともに、地域で活躍する役者を出演者に起用するなど“モノづくりの街・北九州”を市内外に発信している。 【作・演出】 桑原裕子(KAKUTA)

<p>北九州芸術劇場×山海塾 共同プロデュース 山海塾「新作(タイトル未定)」 ワールドプレミア</p>	<p>北九州芸術劇場中劇場 3月24日(土)～25日(日) 2公演</p>	<p>世界各国で極めて高い評価を得ている舞踏カンパニー・山海塾の新作。これまでパリ市立劇場等との共同プロデュースにより新作公演を行ってきた。今回は、「時のなかの時-とき」「降りくるものの中で-とばり」「二つの流れ-から・み」「歴史いぜんの記憶-うむすな」「海の賑わい陸(おか)の静寂-めぐり」に続き6作目となる新作を共同プロデュースし、北九州芸術劇場でワールドプレミア(世界初演)を迎える。 【演出・振付・デザイン】天児牛大</p>
--	---	--

(2) 学芸事業

舞台芸術の手法を用い、人材育成・教育普及事業を実施し地域に貢献する。

事業名	時期・場所等	内容等
<p>北九州芸術劇場 ×北九州市立美術館 vol.5 「10万年の寝言」 ＜再掲＞</p>	<p>北九州市立美術館分館 6月8日(木)～11日(日) 8公演</p>	<p>(1) 創造事業 参照</p>
<p>シアターラボ</p>	<p>[戯曲講座] 北九州芸術劇場創造工房ほか 4月～ [リーディング公演] 北九州芸術劇場創造工房 3月</p>	<p>劇作家や演出家、更には劇団の結成等、次世代のリーダーの育成を目的として、劇場オープンから継続して取り組んでいる事業。戯曲講座を重ね、稽古場でのリーディング公演の上演に挑む。</p>
<p>演カツ！！</p>	<p>北九州芸術劇場創造工房 6月・11月</p>	<p>地域舞台人の新たな表現活動への取り組みや、様々な知識・ノウハウの獲得を目指し、創造工房内稽古場での作品の上演および企画を実施する。</p>
<p>4館連携研修事業 「音楽がヒラク未来」</p>	<p>北九州芸術劇場小劇場 6月14日(水) ～15日(木)</p>	<p>音楽の持つ可能性を共通テーマに、各地の地域課題等を踏まえ、東京文化会館、上田市交流文化芸術センターサントミュージーゼ、札幌コンサートホール Kitaraと北九州芸術劇場の4館が連携して研修プログラムを展開する。</p>
<p>夏休み！子どもの 劇場体験 2017</p>	<p>北九州芸術劇場小劇場ほか 7月26日(水)～30日(日)</p>	<p>地元の若手演劇人や劇場スタッフを講師に小学生を対象とした2つのワークショップを実施する。 ①職場体験コース ②演劇体験コース</p>
<p>子どもシリーズ体験企画 (仮)</p>	<p>北九州芸術劇場 大ホール・中劇場 8月7日(月)～13日(日)</p>	<p>夏休みの子どもを対象にした体験企画。大ホールホワイエを使っての親子ワークショップと、中劇場を使っての体験企画を実施する。</p>

高校生〔的〕シアター	北九州芸術劇場 大ホール・小劇場・創造工房 ほか 通年	北九州地域の高校生に演劇を体験（ワークショップ・鑑賞）してもらい、未来の演劇人や観客の創出、また高校演劇部のレベルアップを図る。 戯曲講座、夏期ゼミ、ワークショップ、チケット優待、作品制作等を予定。
劇場塾 2017	北九州芸術劇場 小劇場・中劇場・創造工房ほか ① ② 11月～12月 ③ 通年	市民や公共ホール等で舞台芸術に携わるスタッフ等を対象に、専門家によるレクチャーを開催し、地域で文化・芸術の振興を担う人材育成と公共ホール間等のネットワークの形成を図る。 ① 地域文化の担い手育成クラス ② 劇場基礎クラス ③ オープンレクチャー
アーティスト往来プログラム	北九州芸術劇場創造工房 市内小中学校ほか 6月～3月	国内外の第一線で活躍するアーティストと地域で活躍するアーティストが、市内の学校や施設において、教育・福祉・街づくりなど地域交流に資するアウトリーチやワークショップを実施。 【講師】北村成美、セレノグラフィカ 有門正太郎 ほか
東筑紫学園高等学校演劇類型との連携事業	通年	全国でも数少ない普通科演劇類型を有する東筑紫学園高等学校にて、劇場のノウハウを活用した演劇人育成に資する授業を行う。
地域のアートレパトリー創造事業	通年	平成 28 年度に地元のプロサッカーチーム「ギラヴァンツ北九州」との協働プロジェクトで創作する「ギラダンス」を、29 年度は地域のアートレパトリーとして普及・定着させるプログラムを実施する。

(3)公演事業

市民により良質な舞台芸術を提供する。

事業名	時期・場所等	内容等
「ハムレット」	北九州芸術劇場大ホール 5月13日(土)～14日(日) 2公演	シェイクスピアの四大悲劇の中でも最も人気の高い「ハムレット」を、英国ロイヤル・シェイクスピア・カンパニーの名誉アソシエート・ディレクターでもあるジョン・ケアードが演出。 【作】W.シェイクスピア【訳】松岡和子 【演出】ジョン・ケアード 【音楽・演奏】藤原道山 【出演】内野聖陽、國村隼ほか
「春のめざめ」	北九州芸術劇場中劇場 6月4日(日) 1公演	【作】フランク・ヴェデキント 【翻訳】酒寄進一 【演出】白井晃 【出演】志尊淳、大野いと、栗原類ほか

大人も一緒に 子どもたちの劇場シリーズ 2017—海外編—	北九州芸術劇場小劇場・創 造工房 7月22日(土) ～23日(日)	小さな子どもから大人まで楽しむ 、選りすぐりの世界の作品を上 演。
子供のためのシェイクスピア 「リア王」	北九州芸術劇場中劇場 7月28日(金) 1公演	「子供のため」と銘打ちながらも、「子 ども騙しや子どもに媚びない」しっ かりした芝居づくりで、わかりやす く楽しいシェイクスピア劇として多 くの観客に愛されている。 【脚本・演出】山崎清介
「とおのもののけやしき」	北九州芸術劇場小劇場 8月12日(土)～13日 (日) 2公演	AI・HALL 伊丹市立演劇ホール製 作の子供向け作品。 【作・演出】岩崎正裕
親子のための ファミリー・ミュージカル 「ピノキオ ～または白雪姫の悲劇～」	北九州芸術劇場中劇場 8月22日(火) 1公演	【原作】カルロ・コロディ 【作曲・音楽監督】深沢桂子 【演出・脚本】宮本亜門 【共同演出・振付】福島桂子
MUM&GYPSY /2007-2017 (仮)	北九州芸術劇場小劇場 9月2日(土)～3日(日) 3公演	藤田貴大率いる「マームとジプシー」 の過去10作品をモチーフごとに3 作品+1作品に作り替え、そのうち 2作品を連続上演。【作・演出】 藤田貴大
ダンスダイブウィーク	北九州芸術劇場小劇場ほか 9月	コンテンポラリーダンスを広く市民 に普及するために、ショーケース公 演、ワークショップ、街なかでの プロジェクトなど、多角的なプログ ラムを企画、2週間に集中して実 施する。
「ロマン派症候群」	北九州芸術劇場中劇場 10月8日(日) 1公演	南河内万歳一座の内藤裕敬と、国 際的ピアニスト仲道郁代がタッグ を組んで創作した、演劇とクラシ ック音楽のコラボレーション作 品。 【作・演出】内藤裕敬 【音楽監修・ピアノ演奏】仲道 郁代
バットシェバ舞踊団 「ラスト・ワーク」	北九州芸術劇場中劇場 10月31日(火) 1公演	イスラエルを拠点に世界的に活躍 する現代ダンスの舞踊団。国内外 、毎年250以上の公演を行い、 75,000人を超える観客を迎える 。世界の秀でた振付家のひとり であり、芸術監督を務めるオハ ド・ナハリン振付による作品を上 演する。

公共ホール 現代ダンス活性化事業	北九州芸術劇場小劇場・創造工房 11月	(一財)地域創造による、現代ダンス活性化事業。 公募型ワークショップを行うほか、市民参加型作品を創作し上演する。
「ロッキー・ホラー・ショー」	北九州芸術劇場大ホール 12月	【脚本・作詞・作曲】 リチャード・オブライエン 【演出】河原雅彦
穂の国とよはし芸術劇場 プロデュース 「新作(タイトル未定)」	北九州芸術劇場小劇場 12月9日(土) ~10日(日) 2公演	【作・演出】桑原裕子(KAKUTA) 【出演】平田満、井上加奈子/井之上隆志、小林勝也、増子倭文江ほか
ナイロン 100℃ 44th SESSION「新作」	北九州芸術劇場中劇場 12月16日(土)~17日(日) 3公演	ケラリーノ・サンドロヴィッチ率いる人気劇団による新作公演。北九州では3年ぶりの劇団公演となる。 【作・演出】 ケラリーノ・サンドロヴィッチ
「かがみのかなたはたなかのなかに」	北九州芸術劇場中劇場 1月27日(土) ~28日(日) 2公演	新国立劇場の作品。 【作・演出】長塚圭史
アンチゴーン(仮)	北九州芸術劇場 大ホール舞台上 2月24日(土) ~26日(月) 4公演	【作】ジャン・アヌイ 【翻訳】岩切正一郎 【演出】栗山民也

(4) 提携・共催・協力事業

事業名	時期・場所等	内容等
平成28年度 劇トツ優勝劇団 公演	北九州芸術劇場小劇場 7月16日(日) ~17日(月・祝)	平成28年度の「劇トツ×20分」で優勝した劇団による公演。
飛ぶ劇場 30th anniversary(vol.38) 「生態系カズクン」	北九州芸術劇場小劇場 9月	北九州市を本拠地に、全国に作品を発信し続ける劇団「飛ぶ劇場」の創立30周年記念公演。 【作・演出】泊篤志 【出演】飛ぶ劇場
「関数ドミノ」	北九州芸術劇場中劇場 10月	劇団イキウメの代表作を寺十吾演出のプロデュース公演として上演。 【脚本】前川知大 【演出】寺十吾 【出演】瀬戸康史ほか

【協力公演】 市川海老蔵歌舞伎公演 2017	北九州芸術劇場大ホール 10月27日(金)	未定
ゴジゲン	北九州芸術劇場小劇場 11月	映画監督としても活躍する松居大悟率 いる劇団の本公演。 【作・演出】松居大悟
空晴	北九州芸術劇場小劇場 11月	大阪を拠点に活動する劇団の公演。北九 州では初の上演となる。 【作・演出】岡部尚子
イキウメ	北九州芸術劇場中劇場 12月	身近な生活と隣り合わせに異界が現れ る、スリリングな世界観を特徴とする前 川知大が率いる劇団の公演。 【作・演出】前川知大
南河内万歳一座	北九州芸術劇場小劇場 12月	大阪を拠点に活動している、内藤裕敬が 率いる劇団の公演。 【作・演出】内藤裕敬
小劇場ダンス公演	北九州芸術劇場小劇場 未定	未定

(5) 北九州舞台芸術フェスティバル

多様な芸術の波及力を活用して「舞台芸術の街・北九州」を内外にアピールし、「文化の薫るまちづくり」の一翼を担う。

事業名	場所・時期等	内容等
平成29年度 北九州舞台芸術フェスティバル 「北九州芸術工業地帯」	北九州芸術劇場小劇場ほか	未定

(6) 支援事業

大ホール・中劇場・小劇場の各施設利用者に対して、「提案する劇場」をモットーに経験豊富なスタッフがアドバイスをを行い、市民の文化活動を支援するほか、地元劇団等の地域での作品創造や上演の環境づくりを支援する事業も実施する。

事業名	場所・時期等	内容等
シアターラボ <再掲>	[戯曲講座] 北九州芸術劇場創造工房ほか 4月～ [リーディング公演] 北九州芸術劇場創造工房 3月	(2) 学芸事業 参照

演カツ！！ ＜再掲＞	北九州芸術劇場 創造工房内稽古場 6月・11月	(2) 学芸事業 参照
ダンスダイブウィーク ＜再掲＞	北九州芸術劇場小劇場ほか 9月	(3) 公演事業 参照
平成29年度 北九州舞台芸術フェスティバル 「北九州芸術工業地帯」 ＜再掲＞	北九州芸術劇場小劇場ほか	(5) 北九州舞台芸術フェスティバル 参照

(7) 地域文化振興事業(受託事業)

市民が優れた芸術文化に接する機会を提供するために公演事業を実施する。

事業名	場所・時期等	内容等
第47回北九州市ファミリー劇場 一角笛シルエット劇場ー	各市民会館・北九州芸術 劇場大ホール 5月29日(月)～ 6月5日(月) 7公演	劇団角笛による子ども向けシルエット劇。幼い頃から舞台芸術に親しんでもらうため、幼児・親子が楽しめる良質な観劇の機会を提供する。
人形浄瑠璃「文楽」公演	戸畑市民会館大ホール 3月4日(日) 2公演	ユネスコの世界無形文化遺産に登録された日本の伝統芸能である「文楽」の公演。

2 音楽文化の振興

市民に、より良質な芸術文化を提供するため、財団が管理する響ホールを中心として積極的な事業を展開し、芸術文化の振興に寄与する。

(1) 創造事業

響ホールオリジナルのコンサートを制作し、公演を実施する。

事業名	場所・時期等	内容等
YAHATA MUSIC PROJECT 響ホールフェスティバル 2017	響ホール 7月8日(土)・9日(日)	本市を活動拠点とする響ホール室内合奏団と響ホールの共同企画。2日間の公演・イベントの他、近隣の大学や企業等と連携し、地域でワークショップや地域コンサートなどを実施する。公演1日目は子どもも大人も楽しめる室内楽。【脚本・演出：浜田嘉生】公演2日目はオペレッタ「天国と地獄」短縮版を制作し、上演する。【脚本・演出：泊篤志】

(2) 響ホール公演事業

音楽専用ホールである響ホールの特性を生かし、質の高い音楽鑑賞の機会を提供する。

事業名	場所・時期等	内容等
2017 響シリーズ第1弾 エマーソン弦楽四重奏団	響ホール 6月3日(土)	福岡県退職教職員協会と共同主催により開催。 40年間、常に清新な演奏を続ける驚異のカルテット、グラミー賞、グラモフォン賞を受賞したエマーソン弦楽四重奏団による公演。
2017 響シリーズ第2弾 小川典子ピアノ・リサイタル	響ホール 本公演 6月17日(土) 地域訪問コンサート 5月8日(月) ～9日(火) アナリーゼ・ワークショップ 6月16日(金)	日本とイギリスを拠点に世界的なオーケストラとの共演やリサイタルを行う小川典子。本公演を行うほか、クラシック音楽愛好家の裾野拡大を目指すため、地域住民を対象とした地域訪問コンサートを実施する。また、アナリーゼ・ワークショップ(楽曲解説)をあわせて行い、クラシック音楽の理解を深めるための活動も行う。
2017 響シリーズ第3弾 田中靖人サクソフォン・リサイタル	響ホール 本公演 2月4日(日) 地域訪問コンサート 2月1日(木) ～2日(金) アナリーゼ・ワークショップ 2月3日(土)	サクソフォン界をリードするトップアーティストの田中靖人のリサイタル。本公演を行うほか、クラシック音楽愛好家の裾野拡大を目指すため、地域住民を対象とした地域訪問コンサートを実施する。また、アナリーゼ・ワークショップ(楽曲解説)をあわせて行い、クラシック音楽の理解を深めるための活動も行う。
2017 響シリーズ第4弾 金子三勇士ピアノ・リサイタル	響ホール 本公演 2月25日(日) 地域訪問コンサート ワークショップ 2月22日(木) ～24日(土)	2016 響シリーズでリサイタルを行った金子三勇士。本公演を行うほか、クラシック音楽愛好家の裾野拡大を目指すため、地域住民を対象とした地域訪問コンサートを前年度に引き続き、実施する。また、ピアノからしばらく遠ざかっている働く世代が、再度、楽器に触れるきっかけをつくるワークショップを新たに実施する。
2017 響シリーズ第5弾 三浦文彰 キム・ソヌク	響ホール 3月2日(金)	ハノーファー国際コンクール最年少優勝し、大河ドラマ「真田丸」のテーマ 演奏で話題沸騰のヴァイオリニスト・三浦文彰と 2006 年権威あるリーズ国際ピアノ・コンクールの40年の歴史上最年少、且つアジア人として初めて優勝し世界的な注目を集めるキム・ソヌクによる公演。

2017響ホール ワンコイン・コンサート ①ヴァイオリン・コンサート 【出演：大森潤子】 ②ハープ・コンサート 【出演：山宮るり子】 ③ピアノ・コンサート 【出演：新居由佳梨】 ④テノール・コンサート 【出演：中井亮一】	響ホール ① 4月27日(木) ② 5月24日(水) ③ 7月21日(金) ④ 9月8日(金)	平日(昼)の響ホールを活用し、トークを交えた短時間のワンコイン・コンサートを実施。新たな顧客層の開拓を目的に、クラシック音楽の魅力を伝える。また本事業を通じ、本格的なクラシック音楽を聴くことができる響ホールのPRを行う。 ①④については、響ホールの認知度の向上とクラシック音楽愛好家の裾野拡大を目指すため、地域住民を対象とした地域訪問コンサートを実施する。
第85回日本音楽コンクール 受賞記念演奏会 in 北九州	響ホール 5月28日(日)	若手音楽家の登竜門として名高い「日本音楽コンクール」の、第85回大会の受賞者たちによる公演。北九州市出身の森山まひる(2位受賞)が出演。(ヴァイオリン・ピアノ・声楽)
親子でたのしむ クラシックコンサート(仮)	響ホール 12月10日(日)	クリスマスに、親子で楽しめるクラシックコンサート実施。子どもたちに生演奏の魅力を伝えるため、ピアニストの新居由佳梨が制作協力。 【響ホールオリジナル企画】

(3) 提携・共催・協力事業

事業名	場所・時期等	内容等
上妻宏光 Standard Songs feat.佐藤竹善	戸畑市民会館大ホール 9月15日(金)	福岡県退職教職員協会と共同主催により開催。 “伝統と革新”を追求し、津軽三味線の可能性を広げ続けている上妻宏光が、シングライクトーキングのボーカリスト佐藤竹善を迎え、ジャンルを超越し名曲達を奏でる。
まちの小さな演奏会	年4回	クラシック音楽を身近に感じてもらうため、市内各所で、北九州市市民文化賞及び奨励賞受賞者によるワンコイン・コンサートを実施。

※ 参 考

事業名	場所・時期等	内容等
2017北九州国際音楽祭	響ホールほか 10月7日(土) ～11月26日(日)	毎年秋に開催される、海外オーケストラや室内楽コンサート等によるクラシック音楽の祭典。2017年は30回目の開催となる。

(4) 育成事業

音楽の手法を用い、人材育成・教育普及事業を実施し地域に貢献するとともに、地域の音楽文化の担い手の育成・継承を行う。

事業名	場所・時期等	内容等
音楽アウトリーチ事業	随時 市内小学校ほか	オーディションにより選ばれた新しい登録アーティスト(平成 28・29 年度)による、小学校等へのアウトリーチ事業を実施する。
芸術文化鑑賞事業	随時 市内小学校	北九州市市民文化賞及び奨励賞受賞者による小学校での訪問コンサートを実施する。
北九州市少年少女合唱団 育成事業	練習 毎週土曜日 14 時から 戸畑市民会館ほか 第 42 回定期演奏会 12月17日(日) 戸畑市民会館大ホール	合唱団の活動を通じて、団員の合唱技術や音楽性の向上に努め、情操豊かな青少年の育成及び市民文化の向上を図る。
北九州市ジュニアオーケストラ 育成事業	・練習 月3回 日曜日 ・第35回定期演奏会 北九州ソレイユホール 8月27日(日) ・第21回スプリングコンサート 北九州芸術劇場大ホール 3月25日(日)	オーケストラ活動を通じて、団員の演奏技術や音楽性の向上に努め、情操豊かな青少年の育成及び市民文化の向上を図る。
第 41 回北九州少年少女合唱祭	戸畑市民会館大ホール 7月2日(日)	市内及び近郊の少年少女合唱団9団体による合唱の祭典。
小・中学校合唱講習会	響ホール 7月25日(火) ～27日(木)	北九州市小学校音楽教育研究会、北九州市中学校音楽教育研究会、福岡県合唱連盟と共催し、小中学生ための合唱講習会を実施。
市制55周年記念 パイプオルガン/合唱組曲「北九州」公演	アルモニーサンク 北九州ソレイユホール 3月11日(日)	市制55周年を記念して、北九州市の文化財産であるパイプオルガンの演奏とふるさと讃歌である合唱組曲「北九州」の演奏会を実施する。 出演：北九州をうたう会、市内少年少女合唱団、市内中学・高校合唱部、北九州交響楽団、小倉祇園太鼓ほか
第 41 回北九州レディースコーラス・フェスティバル	響ホール 3月18日(日)	市内及び近郊の女声合唱グループ約50団体が出演する合唱の祭典

響ホール×北九州国際音楽祭 クラシックコンサート企画講座	響ホール 6月19(月)・20日(火)	北九州国際音楽祭と連携し、クラシック・コンサートの企画等に携わる者等を対象とし、専門家によるレクチャーを開催し、地域で音楽文化の振興を担う人材育成を図る。
---------------------------------	------------------------	---

(5) 支援事業

市民による文化活動発表の場の提供や、地元演奏家の公演企画等により、市民や地域の演奏家の活動を支援し、地域文化の振興を図る。

事業名	場所・時期等	内容等
第41回北九州少年少女合唱祭<再掲>	戸畑市民会館大ホール 7月2日(日)	(4) 育成事業 参照
第41回北九州レディースコーラス・フェスティバル <再掲>	響ホール 3月18日(日)	市内及び近郊の女声合唱グループ約50団体約1,000人による合唱技術向上と相互の交流を図る合唱の祭典。

(6) 地域文化振興事業(受託事業)

市民が優れた芸術文化に接する機会を提供するために公演事業を実施する。

事業名	場所・時期等	内容等
(仮)九州交響楽団メンバーによるアンサンブルコンサート	響ホール 1月	調整中
市制55周年記念 パイプオルガン/合唱組曲「北九州」公演<再掲>	アルモニーサンク 北九州ソレイユホール 3月11日(日)	(4) 育成事業 参照

3 芸術文化情報の収集及び提供事業

地域の芸術文化活動や公演の情報提供を図る。

事業名	場所・時期等	内容等
文化情報誌 『CulCul・かるかる』の発行	毎月1日発行/8,000部 5月号は9,000部	文化芸術・社会教育施設にまつわる記事と文化施設の催事案内を掲載する。
北九州芸術劇場&響ホール 「情報誌Q」の発行	年4回発行 / 16,000部	北九州芸術劇場・響ホールで行われる公演情報をはじめ、地域文化を紹介。

芸術文化情報センターの運営	北九州芸術劇場内	北九州芸術劇場プレイガイド・インフォメーション、アートライブラリー（アート&エコスペースを含む）、市民ギャラリー、ホームページ等で公演の情報提供等を行う。
北九州芸術劇場&響ホールチケットクラブQ会員制度	—	公演チケットの販売促進等のため、会員を募集する。 特典：チケットの先行予約、ポイント積立てによる割引、公演情報の提供等

4 施設間の有機的な連携を図るための取り組み

響ホールと北九州芸術劇場が連携し、他ジャンル・他文化施設とも協働しながら、地域の財産となる文化・芸術を活かした創造的活動の活性化を図る。

事業名	時期・場所等	内容等
北九州芸術劇場 ×北九州市立美術館 vol.5 「10万年の寝言」 〈再掲〉	北九州市立美術館分館 6月8日（木）～11日（日） 8公演	1 舞台芸術の振興 （1）創造事業 参照
北九州芸術劇場 ワンコインコンサート	北九州芸術劇場大ホール・小劇場 10月～3月 年2回予定	平日昼間の劇場大ホールでトークを交えた短時間のコンサートを行い、劇場に気軽に足を運んでもらうとともに、響ホールでのコンサートへも繋げ、新たな観客層の拡大を目指し、小倉中心部などの回遊活性化も図る。
到津の森公園×北九州芸術劇場 連携事業 ～どこをどうぶつる（仮）～	[公演] 「どこをどうぶつる（仮）」 到津の森公園内 10月14日（土）～15日（日） 2公演	到津の森公園と北九州芸術劇場が連携して、動物たちと舞台芸術との出会いから生まれる文化芸術の広がりを創出し、ダンス・音楽などの要素を盛り込んだ企画を実施。平成28年度の北九州芸術劇場での上演に続き、29年度は場所を到津の森公園に移し、園内で公演をおこなう。

II 芸術文化施設の管理

市内にある芸術文化施設のうち、多目的に使用できる大ホール、演劇専用の中劇場、多機能に使用できる小劇場等を有する北九州芸術劇場、音響効果に優れた音楽専用の響ホール、また、音楽、演劇、舞踊をはじめとする市民の芸術文化活動を支援する場である大手町練習場について、北九州市の指定管理者として管理を実施する。

施設名	主要施設	期間
北九州芸術劇場	大ホール、中劇場、小劇場 芸術文化情報センター（北九州芸術劇場プレイガイド・インフォメーション、市民ギャラリー、アートライブラリー）	平成26年4月1日から平成31年3月31日まで （指定管理）
響ホール	大ホール、リハーサル室、研修室	
大手町練習場	大練習室、中練習室1・2、小練習室1～8、会議室1～3	

Ⅲ 市有施設の維持管理

響ホールが入居する北九州市立国際村交流センターについて、建物や設備機器などの維持管理を響ホールの管理運営と一体で行い、市有施設の効率的な維持管理を行う。

施設名	主要施設	期間
国際村交流センター	響ホール、八幡東生涯学習センター、アジア低炭素化センター、駐車場	平成26年4月1日から平成31年3月31日まで （指定管理）

Ⅳ 埋蔵文化財の発掘調査研究

北九州市及び民間開発業者などからの委託を受け、埋蔵文化財の発掘調査、研究及び保存等を行い文化の振興に寄与する。

1 埋蔵文化財の発掘調査及び整理

事業名	遺跡名	区分	面積㎡	遺跡の概要
「(仮称)平和資料館」建設事業	小倉城御用屋敷跡	発掘	800	小倉城跡
7号線(富士見工区)	城野遺跡	発掘	1,500	集落跡
神獄川護岸整備工事(左岸馬借)	馬借遺跡	発掘	130	城下町跡
折尾土地区画整理事業(堀川町)造成工事	菅原神社遺跡	発掘	240	集落跡
(仮称)宮の前団地市営団地建設工事	大辻遺跡	発掘	835	集落跡
(仮称)野面団地第1工区市営住宅建設	長泉寺遺跡	発掘	700	集落跡
庁舎等建替え	金田遺跡	発掘	3,780	城下町跡
アパート建設	稗田川遺跡第2地点	発掘	173	集落跡
宅地造成(津田二丁目)	森山遺跡第2地点	発掘	154	集落跡
介護保険施設建築	末金遺跡	発掘	422	集落跡

須磨園南原曾根線道路改築事業	森屋敷遺跡第2地点		整理	○	集落跡
小倉地方合同庁舎建設	小倉城三の丸跡 第10地点		整理	○	小倉城跡
長行田町線(長尾小学校入口交差点)交通安全事業	祇園町遺跡第11地点		整理	○	集落跡
北方学童保育クラブ増築	砥石山遺跡第4地点		整理	○	集落跡
庁舎等建替え	金田遺跡第2地点		整理	○	城下町跡
宅地造成(蜷田若園三丁目)	先ノ下遺跡第3地点		整理	○	集落跡
小倉駅南口東地区市街地再開発事業	京町遺跡第11地点		整理	○	集落跡
(仮称)徳力商業施設新築工事	上徳力遺跡第27地点		整理	○	集落跡
宅地造成(永犬丸一丁目)	北浦廃寺第6次		整理	○	寺院跡
木造2階建共同住宅新築(楠橋下方二丁目)	則定遺跡		整理	○	集落跡
マンション建築(木町一丁目)	木町遺跡		整理	○	集落跡
(仮称)BH小倉京町新築工事・ (仮称)京の湯新築工事	京町遺跡第9地点 京町遺跡第12地点		整理	○	城下町跡
自宅併用マンション(蜷田若園三丁目)	中条遺跡第2地点		整理	○	集落跡
小倉魚町三丁目複合商業施設開発事業	魚町遺跡1区・2区		整理	○	城下町跡
共同住宅建設工事	片野遺跡第4次調査		整理	○	集落跡
ビジネスホテル建設工事	京町遺跡第7地点		整理	○	城下町跡
合 計		発掘 10件	整理 17件	8,734	

2 埋蔵文化財調査報告書の刊行
森屋敷遺跡第2地点など 全16冊・17事業

3 埋蔵文化財に関する調査研究
年報及び研究紀要の発刊

4 埋蔵文化財に関する普及活動

埋蔵文化財に関する市民の理解を深める。

事業名	時期・場所等	内容等
市民考古学講座	日時：平成29年5月～ 平成30年3月の 奇数月概ね第4木 曜日（全6回） 13時30分～ 15時30分 場所：埋蔵文化財センター	北九州市内の遺跡・古墳、および出土した土器・石器・埴輪・陶磁器などを用いて、北九州市の原始・古代から中・近世・幕末期までの歴史を考古学の立場から説明する。展示施設や整理作業室を案内する。
こども考古学講座	日時：平成29年4月～ 平成30年3月の 第4日曜日（全7 回） 10時～12時 場所：埋蔵文化財センター	「君も考古学者だ！」をテーマに、北九州市内の遺跡・古墳、および出土した土器・石器・埴輪・陶磁器などを用いて、それらに実際に触れたり、火をおこしたり、鏡やメダイなどの製作を行う。
現地説明会	時期・場所未定	話題性の高い遺跡において、発見された遺構や出土した遺物を、市民を対象に、現地で学芸員が解説しながら見学していただく。
遺跡発掘報告会	日時：平成30年3月4日 （日） 場所：未定	平成29年度に実施した発掘調査のうち、話題性の高い遺跡などを紹介する。
速報展	年3回	最近の調査で出土した埋蔵文化財を展示する。

5 埋蔵文化財センターの維持管理

施設名	主要施設	期間
埋蔵文化財センター	展示室、整理作業室、事務室、 収蔵庫	平成29年4月1日から 平成30年3月31日まで

V 地域文化の情報提供

1 北九州市芸術文化情報誌『CulCul・かるかる』の刊行事業

演劇・音楽・埋蔵文化財・文芸・美術・漫画など文化芸術・社会教育施設にまつわる記事と市内文化施設での催事案内をフリーペーパーとして毎月1回定期刊行する。

劇場や音楽ホール、市民センターなどの文化施設をはじめ、市内ホテル、JR・モノレール各駅など合計約320ヶ所に設置し無料配布する。

また、ホームページや電子書籍などのデジタルコンテンツも活用し、広域かつ世代間を超えた情報発信を行う。

事業名	時期・部数等	内容等
文化情報誌 『CulCul・かるかる』 の刊行	毎月1日発行/8,000部 5月号は9,000部	演劇・音楽・埋蔵文化財・文芸・美術・漫画などにまつわる記事と市内文化施設での催事案内を、市民を含む北九州都市圏向けに情報提供。フリーペーパーだけでなく、ホームページや電子書籍としても情報発信する。

2 書籍の販売等

北九州市からの受託を含め、北九州市に関する各種の書籍を市内書店等で販売する。

取扱い書籍は次のとおりである。

「北九州市史」(全10巻)、「北九州むかしばなし」「きたきゅう発掘！考古学ノート」「続海峡の風」「火野葦平とゆかりの人びと」「北九州市の野鳥たち」「川が変えたまち」「門司港レトロ物語」「ひろば北九州バックナンバー」

3 文化施設の情報提供事業(ホームページ)

『CulCul・かるかる』に掲載の記事と文化施設の催事情報をタイムラインで情報発信するメディアサイトの管理を行う。パソコン、スマートフォン、タブレット端末などウィンドウサイズに合わせて自動的にページのデザインを最適化するレスポンシブデザインを起用し、さらにメディアサイトのアプリをダウンロードしたユーザーへ新着情報のプッシュ通知を行う。各文化施設のフェイスブックから発信された情報をRSS機能により取り込みメディアサイトから情報発信する。各機関からの情報や、取材などをもとにタイムリーな情報提供を行う。また、北九州ミュージアムウィークの期間中はメディアサイトで情報発信を行う。